

【全体概要】

曾於地域のいちごは県内1位の産地であるが、従来品種に加え、輸送性の高い新品種の導入により、実需者のニーズに応じていくことが求められている。このため、「恋みのり」の普及拡大を図り、市場、消費地のニーズに対応した産地育成を進め、農家の所得向上を図るとともに、生産技術確立に必要な情報収集や課題整理、実需者の意向把握等に取り組む。

新品種・新技術等の概要

＜新品種の概要＞

品種名：「恋みのり」
品種登録：2017年1月30日
特性等

- ①大粒で収穫・調整の省力化が可能
- ②連続出蕾性が高い
- ③棚持ちが良く、輸送性に優れる

＜新技術の概要＞

- ①わい化剤を用いた健全苗の育成と I PM 技術の導入検討 (R1~R2)
- ②定植適期の検討 (R2)
- ③受粉促進剤(R2)の導入

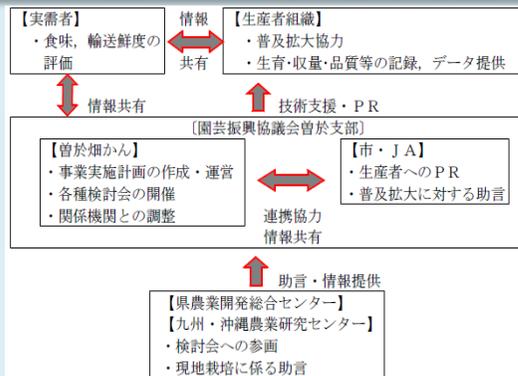


わい化剤による徒長対策



カモンビービーによる商品向上

実施体制図



新品種「恋みのり」

実績と今後の展開

○生産実績

恋みのりの生産実績 (単位: a, トン, 千円)

	面積	生産量	販売額
平成30年度	49	15.7	19,700
令和元年度	64	24.8	30,635
令和2年度	40	13.4	16,144

- ・令和元年度は、前年度より面積、生産量、販売額とも増加したが、2年度は苗不足により面積、生産量が減少した。
- ・令和3年度は管内2JAで約80aの栽培が見込まれる。
- 品種・技術の実証結果の概要
 - ・「恋みのり」は棚持ちがよく市場評価も高い(福岡)。
 - ・育苗時期の土着天敵の普及が図られた。
- 今後の展開
 - ・健苗育成による定植苗の安定確保。
 - ・土着、市販天敵等を活用した I PM 技術の普及を図り、安心安全ないちごとしてPR・販売を図る。

主な取組内容

- 品種の栽培特性把握と栽培技術の整理
 - ・品種の栽培特性の整理と栽培基準表の作成 (R2)
 - ・福岡県における「恋みのり」の市場評価調査 (R2)
 - ・受粉促進剤(カモンビービー)による品質向上 (R2)
 - ・先進地(熊本県,大分県)での情報収集 (R1)
 - ・育苗,ハウス管理の栽培実態調査(わいか剤の検討, R1)
- I PM 技術の普及推進
 - ・育苗時期の土着天敵の活用方法の検討 (R1~R2)